


全国港湾Fax通信

No.

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番) 全国港湾21FAX第73号
(宛先)	2022年 2月25日 時 分
各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長 殿	(発信者) 全国港湾書記局 

(件名)

22港湾春闘情報(1)

(本文)

22港湾春闘は2月16日(水)に第1回中央港湾団交を開催し要求書を提出した。組合側は、コロナ禍での交渉として主旨説明を文書化し、時間短縮と正確に伝える目的で手交した。趣旨説明のなかで特に強調されたのは、船社が莫大な利益をあげているときに港湾への還元があって当然で適正料金を収受して大幅賃上げを要請した。また、組合側は、要求が実現できない場合は、強硬手段も辞さないことを表明した。

次回3月8日14:00にすることを労使で確認して団交を終了した。2月25日現在の単組のとりくみを下記します。

1. 各単組の取り組み状況について(2月15日現在)

(1) 全港湾 2月1日~2日 全港湾中央委員会

3月1日までに要求書の提出し、スト権集約も3月1日までとする。回答指定日3月15日を第1回回答指定日とし、各地方の集中回答指定ゾーンを3月15~18日とする。要求は、基本給一律20,000円、65歳までの定年延長、労災補償の引き上げ、初任給の引き上げ、伝染病の休業補償を求める等12項目を要求。

(2) 日港労連 2月9日~10日 日港労連中央委員会

2月16日(水)、東京芝浦サービスセンターにおいて、定年制度創設に向けた確認を行ない、その後、第1回港荷労使交渉を行った。賃上げ要求は基準内月額賃金20,000円、定昇8,000円。2025年を待たずして65歳までの定年延長。スト権確立2月末を予定。第2回交渉は、3月9日(水)。

(3) 検数労連 1月27日~28日 検数労連中央委員会

2月17日に第1回交渉を行い、要求書の提出を行い、回答指定日を3月25日としている。スト権集約は2月21日で確立。なお、要求は、本給一律20,000円とした。

(4) 検定労連 2月14日~15日 検定労連中央委員会

要求書提出は、3月1日とし、スト権集約は2月末日。なお、賃上げは6%要求とした。海事検定職組一人平均17,697円(6%)以上を要求、シンケン労組組合員一人平均17,131円(6%)以上を要求

- (5) 全倉運 1月25日～26日 全倉運春闘討論集会(コロナ禍の為、中止)
5%+ α を統一要求基準とし、統一要求提出日は3月16日(水)、回答指定日を3月30日(水)としている。
- (6) 大港労組 1月21日(金) 大港労組春闘討論集会(派遣=玉田)
基準内賃金月額20,000円を要求。2月25日(金)に第1回団交を開催し、要求書主旨説明を行った。次回は3月中旬を予定している。
- (7) 全日通 2月9日(水) 全日通中央委員会
要求書提出は2月14日(月)で、賃金11,000円の増額、一時金年間(夏季・年末合わせて)5か月、回答指定日は3月4日(金)、山場は3月17日(木)を予定している。

以上